



SDGs&カーボンニュートラルに参画しよう

安全で快適に暮らせるまち

生活環境

地域と地球をまもる女性たち 能美市女性協議会の活動

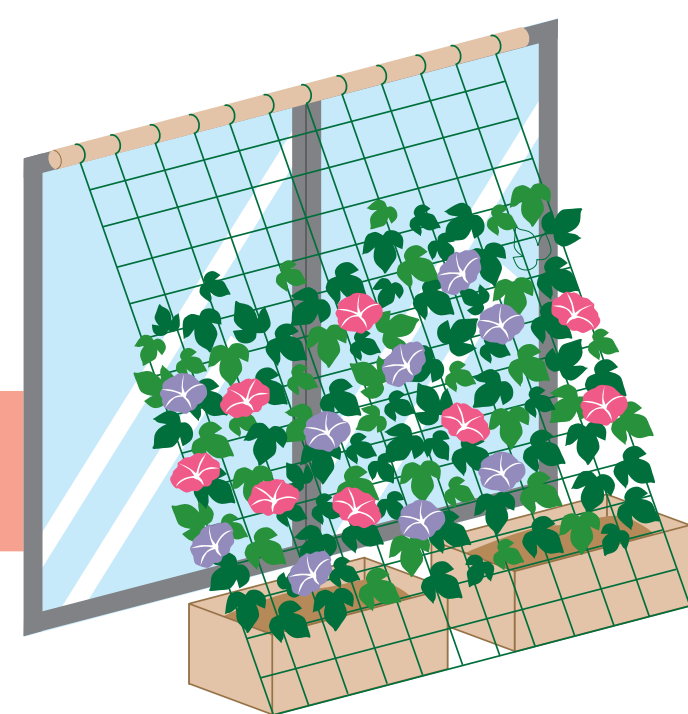
わたしのまちには、「能美市女性協議会（のみし じょせいきょうぎかい）」という、女性たちが集まって活動している団体があります。
この協議会は、長い間、地域の安全や安心な暮らしをまもる活動を続けています。

たとえば

- 住んでいるまちの活動への参加とお世話
- 福祉をよくするためのお手伝い
- 防災（ぼうさい）や減災（げんさい）活動
- 女性がいきいきとくらせるような活動 などです。

そして、環境をまもることに力を入れていて、地域の花だんをきれいにしたり、夏にはグリーンカーテン（植物で作った日よけ）を作ったりしています。

能美市女性協議会が貢献（こうけん）しているSDGs（エスディーゼーズ）のゴール



1 ゴール5/ ジェンダー平等を実現しよう

女性が地域で活やくすることで、男女みんなが平等に生きる社会をつくっています。



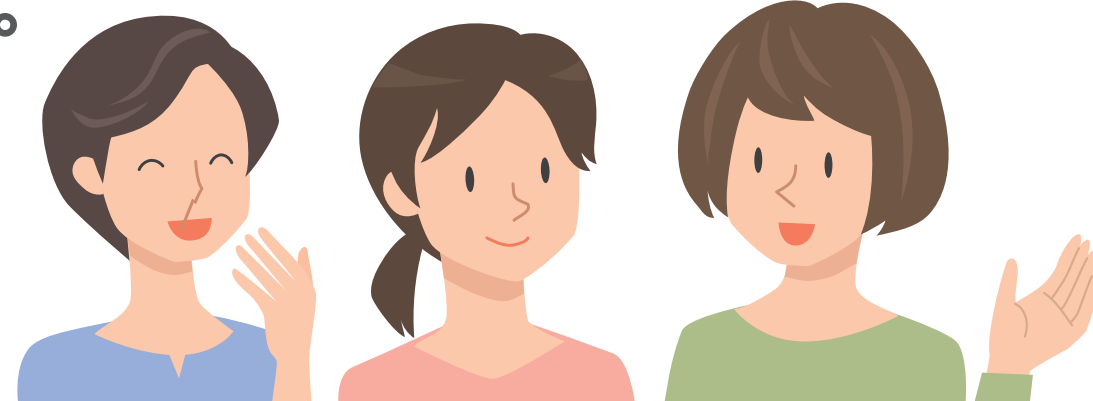
3 ゴール13/ 気候変動に具体的な対策を

グリーンカーテンを使って、エアコンの使用を減らす工夫をして、CO₂（二酸化炭素）を減らしています。



2 ゴール11/ 住み続けられるまちづくりを

花だんの手入れや防災の活動をとおして、だれもが心ゆたかに安心して暮らせるまちをつくっています。



カーボンニュートラルへの貢献

グリーンカーテンとは、ゴーヤやアサガオなどのツル植物を窓の前に育て、夏の日ざしをさえぎるカーテンのことです。これを使うと、おうちの中がすずしくなると、エアコンが動くために必要な電力を少なくする効果があります。

たとえば

- グリーンカーテンをつけると、1日あたり0.5kWhの電気が減るといわれています。
- それによって、1か月で約5kgのCO₂が減ります。

能美市で100か所にグリーンカーテンをつけたら…

5kg × 100か所 = 500kgのCO₂削減！

これは、車で約2,000km走ったときに出るCO₂と同じくらいです。

わたしたちにできること

能美市女性協議会のような活動は、わたしたちの暮らしを支え、地球をまもってくれている大切な存在です。

最近では、このような活動をする人が少なくなっていて、団体がなくなってしまった地域もあります。

このままでは、地域の力が弱くなり、住みにくくなったり、災害に弱くなったりしてしまうかもしれません。

元気な地域で、安全安心にくらしていけるよう、大人になったら、まちを支える活動にすすんで参加することも大切です。